

2021年8月18日

各 位

会 社 名 株式会社エム・エイチ・グループ
本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目11-1
代 表 者 代表取締役兼執行役員社長 朱 峰 玲 子
(コード番号) 9 4 3 9
問 い 合 せ 先 取締役兼執行役員管理本部長 家 島 広 行
(T E L) 0 3 - 5 4 1 1 - 7 2 2 2

関係会社貸倒引当金繰入額及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年6月期第4四半期連結会計期間において関係会社貸倒引当金繰入額及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 関係会社貸倒引当金繰入額の計上

当社の連結子会社で株式会社アトリエ・エム・エイチ（以下「AMH」という）は、対面型の役務提供を行うサービス業であることから、前連結会計年度及び当連結会計年度において新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、当連結会計年度末日現在において財政状態は債務超過となっております。

AMHの事業収益の回復可能性は十分に高いものの、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けるため、同感染症のこれまでの経過、現在の感染状況から合理的な収束時期が見通せないことから、当社が有するAMHに対する金銭債権について85百万円を関係会社貸倒引当金として計上することといたしました。これにより2021年6月期第4四半期連結会計期間の個別財務諸表の販売費及び一般管理費において関係会社貸倒引当金繰入額50百万円、営業外費用において関係会社貸倒引当金繰入額35百万円を計上いたしました。

なお、当該関係会社貸倒引当金繰入額は、連結財務諸表上ではいずれも相殺消去されます。

2. 特別損失の計上

(1) 関係会社株式評価損

上記1.「関係会社貸倒引当金繰入額の計上」に記載のとおり、当社の連結子会社であるAMHは、当連結会計年度末日現在においてその財政状態は債務超過となっております。当該状況を鑑み、当社が有するAMHの関係会社株式について、純資産額の回復可能性について上記1.と同様の検討を行った結果、備忘価額まで減額し、2021年6月期第4四半期連結会計期間の個別財務諸表の特別損失において関係会社株式評価損49百万円を計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損は、連結財務諸表上では相殺消去されます。

(2) 減損損失

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき収益性の低下による減損の兆候が見られる資産グループの固定資産について将来の回収可能性を慎重に検討した結果、2021年6月期第4四半期連結会計期間の連結財務諸表の特別損失において減損損失39百万円、個別財務諸表の特別損失において減損損失21百万円を計上いたしました。

(3) 店舗閉鎖損失

当連結会計年度末日をもって閉店した直営店に係る新たな閉店費用について2021年6月期第4四半期連結会計期間の連結財務諸表の特別損失において店舗閉鎖損失2百万円を計上いたしました。当該直営店の閉店に係る店舗閉鎖損失は2021年6月期第3四半期連結累計期間において3百万円を計上しており、当連結会計年度の店舗閉鎖損失は5百万円となります。

以上